



真龍小便い

【学校の教育目標】
☆心と体をきたえる子
☆美しい心をもつ子
☆考えて行動する子
☆生き生きと学ぶ子

No.5 令和3年7月21日発行

刻んだ成長

校長 佐野 哲 哉

ここ数日、厚岸でも“夏日”が続いています。半そで・短パン姿の子どもが増え、コロナ対策で各教室に導入した大型扇風機もフル稼働していますが、暑さを凌ぐのは難しい状況です。夏を迎え1年生のアサガオが蔓（つる）を伸ばし、2年生のミニトマトが茎をたくましくしているように、本校の子どもたちも学習や生活の力を伸ばし、人間としての芯をたくましくして着実に成長を重ねています。

過日の7月8・9日、6年生と一緒に北見・網走方面へ修学旅行に行ってきました。昨年はコロナ禍の影響で10月への延期を余儀なくされ、今年も直前まで緊急事態宣言が発令されるなど実施の判断が難しい状況にありましたが、幸運にも実施が叶いました。また天候にも恵まれ予定したすべての活動・行程を無事に終え、全員元気に帰校しました。2日間の子どもたちの活動を見ていて感心したことは、①時間を意識した行動（時間を守る）。②ケジメある態度。③常識ある行動。④協力する姿。6年間の学びの「集大成」に相応しい素晴らしい姿でした。6年生一人一人の6年間の学びの成果を感じるとともに、学年としてのまとまりや絆を実感できた修学旅行でした。個の成長と学年としての高まりを今後の学校生活でより確かなものとしながら、本校の最上級生としてのプライド（誇り）をさらに高めてほしいと願っています。

7月16日には、昨年雨で叶わなかった遠足を実施することができ、それぞれの学年で最後までやり抜く力を高めることができました。この日は厚岸に食中毒警報が発令されるなど前日までとはうって変わって暑い1日となりました。子どもたちは暑さにもめげず目的地までしっかり歩き、現地では計画していた遊びに楽しく取り組んでいました。お楽しみのおやつやお弁当も嬉しそうに頬張っていました。遠足でみんなと食べるお弁当の味は格別なんですよ！遠足の一番のハードルは帰りの歩きです。どの学年も、疲れと暑さとの闘いでした。列に遅れぬよう気力を振り絞り、“歩いて学校にたどり着く”ことを目指して体力の限界に挑戦しながら歩き抜きました。自分の弱い気持ちに負けそうになるとき、力になるのが友達の存在です。友達との会話や励まし、一緒に歩を進める心地よさを子どもたちは実感したことでしょう。

74日間の前期第1ステージを振り返ると、これら行事で高めた力とともに、毎日の挨拶や縦割り清掃で醸成された礼儀や進んで働く心、係活動や委員会活動で育まれた協力する気持ちや責任感、授業や体験活動で高めた考える力や発信する力など、子どもたちの成長を感じています。コロナ禍の世情で教育活動にも様々な制約がある中、子どもたちはその環境に適応しつつ一生懸命取り組んできました。子どもたちのがんばりを讃えるとともに、様々な創意工夫により教育活動の保障を支えてくれた教職員の努力と、それを理解し協力いただいた保護者・地域の皆様に感謝いたします。

明日からいよいよ27日間の夏休みを迎えます。今年の夏休みに比べると3倍の期間です。子どもたちには以下の3点を大切にしてほしいとお話ししました。

- ① 健康と安全に気をつけること
- ② これまで学習したことを振り返り、課題や苦手なことを学び直すこと
- ③ 本を読んで心を豊かにしたり、知識や知恵にふれたりすること

また、自国開催のオリンピックを観戦して、競技に真剣に向き合うアスリートの姿や秘められたドラマに触れ、自身のがんばる勇気につなげてほしいと伝えました。外出もままならない状況でもありますので、ご家族でオリンピック、パラリンピックを観戦して感動を共有してみたいと思います。

明日からの27日間、ご家族でコロナ感染対策を徹底して健康と安全に留意しながらお子さんと過ごす時間を大切にいただき、有意義な夏休みとなりますよう保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

日	曜	8月の主な行事
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	山の日
9	月	振替休日
10	火	学校閉庁日
11	水	学校閉庁日
12	木	学校閉庁日
13	金	学校閉庁日
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	夏季休業最終日
18	水	通常日課 講話朝会 前期第2ステージ開始
19	木	夏休み作品展(～8月31日) 街頭指導
20	金	街頭指導
21	土	
22	日	
23	月	生活リズムチェック週間(～29日)真龍中1日入学①
24	火	短縮日課
25	水	短縮日課 委員会⑥(前期反省)
26	木	中休み読み聞かせ(1年)
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	基礎学力テスト(～9/3)
31	土	短縮日課 クラブ②

「ながら見守り」のお願い

児童の下校時刻に合わせて、また、夏休み中は日中、家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力お願い致します。

修学旅行無事終了

7月8日(木)・9日(金)の2日間、修学旅行が行われました。実施前には、緊急事態宣言の延長など、先を見通せない状況が続きましたが、子供たちの願いが届いたので、無事、実施することができました。

天候にも恵まれ、2日間思いっきり楽しみ、たくさんの思い出を作ることができたようです。今回は、乗馬をしたり遊園地で遊んだり、カヌーやカーリング、ガラス加工など貴重な体験を積むことができました。



地引網体験を行いました

7月13日(火)に翔洋高校が行っている、地引網調査に、真龍小学校の3年生が、参加しました。場所は、真龍岸壁のすぐ脇の干潟で行いました。翔洋高校の生徒による説明の後網を引くと、その中には、ヌマガレイやクロガレイ、カジカやニシンなどが入っていました。翔洋高校の先生によると、厚岸の海は、生態系も整い、多くの魚が生息する場所になっているとのこと。この豊かな海の様子を子供たちが観察できたことは子供たちにとって貴重な体験となりました。

これを通し「かけがえのない厚岸の海を大切にしていこう」という思いが育つことを期待します。

遠足が行われました

7月16日(金)に遠足が行われました。当初は5月21日に予定していましたが、コロナ禍による緊急事態宣言のため延期となっていました。また、昨年度は、コロナ禍の影響と降雨のため中止となっていたため、子供たちにとっては、待ち望んでいた遠足となりました。

当日は、晴天に恵まれ、暑い中での実施となりました。どの学年もたくさんの良い経験を積むことができたようです。



「がんに関する教育」を行いました

7月19日(月)に6年生対象に「がんに関する教育」が行われました。講師は、町立病院の総看護師長、森美代子さんでした。話の中では、日本人の2人に1人ががんに罹ることやがんの原因が細菌やウイルス、生活習慣が関わっていること、がんは治る病気となってきたことが話されました。子供たちにとって、命に係わる重い内容ではあったと思いますが、命について考える貴重な経験になったようです。

夏休みに向けて

明日から夏休みとなります。子供たちにとって待ちに待った夏休みだと思います。子供たちのうれしい気持ちが気のゆるみへと繋がり、思わぬ事故に巻き込まれることが懸念されます。学校では、夏休みの生活について子供たちに指導を行っております。今年度は、特に次の2点を重点とし、指導を行いました。

1点目は、自転車乗りについてです。今年度は特に、自転車に乗っているときの事故が多く目立っています。昨年コロナ禍の巣ごもりで、体をたくさん動かすことができなかったことが要因ではないかと思っています。安全を心がけるよう指導しています。

2点目は、公園の使い方についてです。地域からは高学年の子が公園を独占し、小さな子が遊べないという情報も入っています。公園はみんなのものです。譲り合いながら、みんな楽しく遊べるよう、公園の使い方について考える指導を行っています。

27日間の夏休みの間、交通ルールを守ることや事件、事故にあわないよう、学校でも指導を行っております。また、長期に渡ることから、怪我無く安全な夏休みを過ごすためにも、保護者の方からの「気を付けよう」の声掛けをしていただくなど、適宜子供たちの注意を喚起するための取組をお願いします。

学校閉庁日があります

8月10日(火)～13日(金)の4日間は、北海道の働き方改革の取り組みの一つとして、学校閉庁となります。週休日を含め、8月7日(土)から15日(日)の間、学校は締まっておりますので、あらかじめお伝えいたします。

この期間何かありましたら教育委員会まで連絡してください。

学校評価保護者アンケートへのご協力ありがとうございました

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。様々なご意見をいただき、改善に向け、取り組みを進めているところです。

なお、結果については、今後分析を行った後、夏休み明けにお伝えしますので、しばらくお待ちください。

岡本敦司バリトンコンサート In あっけし

8月22日(日)14時より、本校体育館を会場にバリトンコンサートが行われます。厚岸町出身のオペラ歌手である岡本敦司さんの歌声をぜひ聴いてみてはいかがでしょうか？

入場は無料ですが整理券が必要になります。詳しくは下記の電話まで。

お問い合わせ先：0153-52-7810

真龍小学校便り おすすめ本(R3.8月号)

『ぼくはなきました』くすのき しげのり/作 石井聖岳/絵 (小学館)

真龍おはなし隊 山本志野

男の子が泣いています。

主人公のそうたくんです。

表情から伝わるように、嬉しくて、泣いています。

そうたくんは学校の授業で、

「自分のいいところ」をカードに書きましようと言われます。

「ぼくのいいところ」ってどんなところだろう・・・

そうたくんは、自分のいいところが思いつきません。

自分のお母さんのいいところやお友だちのいいところはたくさん思いつくの。考えても考えても、でも、やっぱり、自分のいいところが思いつかない。そうたくんは泣きそうになります。

そんな時、先生が、持っていた小さな紙に

何かを書いてそうたくに渡します。そう

たくんはそれを読んで嬉しくて、ちょっぴり涙が出ました。

それが表紙の表情です。

一人一人必ずいいところがあります。

この本を読んで、みなさんも自分のいいところを見つけられますように。

心温まる絵本です。

